

日野おはなしの会



日本を始めいろいろな国の昔話、また語りに向く絵本や文学作品を覚えて”素語り（ストーリーテリング）をする”という活動をしています。

日野おはなしの会には、「種をまく人とこすずめの会」「ことの葉」「よつ葉の会」、3つの勉強会があります。それぞれの月例会で、覚えた作品を語り合い、批評し合い、絵本や書籍の情報を交換します。そしてお話会やイベントはグループの枠を超えて一緒に開催しています。

主な活動の場（お話会を開催する場所）は保育園、学校、児童館などです。ストーリーテリングのお話と絵本の読み聞かせ、そして最後にお話の出典本や関連本を実際に見せながら紹介します。その本の入手のため、図書館にはいつもお世話になっています。

特に小学校では全クラスでお話会を行うので、必要な書籍はかなりの量になります。当会がお願いした書籍を、小学校と図書館とで連携してお話会当日までに配本していただいたり、不足本がないかを事前に確認させていただいたりして準備しています。

その甲斐あって、クラスでのお話会の後には、子ども達が「見せて、見せて」と本に寄ってきます。ストーリーテリングで物語を楽しんだ後、すぐに実際の書籍を手にとれることで、子ども達の世界がぐんと広がるような気がします。

月に1回、多摩平図書館のお話の部屋をお借りして開催している「わくわくおはなし会（現在はコロナ禍で休止中）」には、保育園や学校で当会のお話会を聴いてくれた子どもたちが来てくれることもあります。そんな時は、子ども達と本を繋げるお手伝いができたかなと嬉しく思います。また小さなお子さんを連れた親子が聞いた絵本を借りて帰られる姿には、お家での微笑ましい読み聞かせの様子がうかがわれ、こちらも幸せな気持ちになります。

どんな時でも、子どもたちには「物語」が、「本」が必要です。私たちは「子どもたちにもっと物語を」と願って、お話を届けています。

